



平成19年6月29日

各位

会社名 日産ディーゼル工業株式会社
代表者 取締役社長 竹内 覚
(コード番号 7210 東証第一部)
問合せ先 広報・IR室主管 廣 重 浩
(TEL 048-726-7601)

親会社等に関する事項について

1. 親会社の商号等

(平成19年3月31日)

親会社等	属性	親会社等の議決権 所有割合(%) (注1)	親会社等が発行する株券が上場され ている証券取引所等
エヌエー株式会社	親会社	96.06%	なし
ボルボ社(注2)	親会社	96.06% (96.06%)	ストックホルム証券取引所(スウェーデン)、 ニューヨークナスダック(米国)

(注1)親会社等の議決権所有割合欄の()は、間接所有割合で内数です。

(注2)ボルボ社はエヌエー社の株式の100%を保有する株主です。

2. 非上場の親会社等に関する会社情報の適時開示の免除の理由

エヌエー株式会社は平成19年1月30日に設立された会社であり、設立後決算期(12月31日)が未到来であるため計算書類等は作成されていません。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

エヌエー株式会社は、ボルボ社が発行済株式の全てを所有する買収目的会社です。

当社は親会社であるボルボ社と以下の5つの事業領域において、シナジー効果を期待しています。このシナジーを実現すべく、ボルボ社副社長のヨルマ ハロネンが当社の取締役会長を兼務しています。また、当社の取締役社長 竹内 覚は、ボルボ社のグループエグゼクティブコミッティーのメンバーに選任されています。

<シナジーの概要>

(1)商品企画

新製品開発を通じた投資及び開発費の低減を図る。

- ・ボルボ社の開発プロセス「CAST(Common Architecture & Shared Technology)」を基本とした、両社大型車のプラットフォームのハーモナイゼーション
- ・中型車の共同開発
- ・コンポーネントの相互補完

(2)開発

ボルボ社のモジュール技術を当社が採用し、開発効率の向上を図る。代替燃料、安全、電子制御等の先進技術分野、更にはハイブリッド技術において協業を図る。

(3)販売

日本ではボルボ社が当社ネットワークを、中国では当社がボルボ社のネットワークを活用する。更に、アフターセールスにおける協業を促進する。

(4)調達

ボリューム効果や共同購買により収益拡大を図り、早期のシナジー効果を得る。

(5)生産

両社の生産システムの理解を深め、共通化したKPI(キーとなる各種指標)により品質、コスト、デリバリーの面での競争力を向上させる。また、アジアでの生産の協業化を促進する。

4. 親会社等との取引について

親会社等との間に開示すべき重要な取引はありません。

なお、当社は本年7月23日に上場を廃止する予定です。

以上